



先生のおすすめ絵本

バムとケロのにちようび

〈作〉島田ゆか 〈出版社〉文溪堂



雨の日に家の掃除をしていたバム。きれいになった部屋に、外で遊んでどろどろになったケロちゃんが帰ってきます。お風呂に入って、今度は二人で掃除。綺麗になったら、おやつ準備をします。もちもちでおいしそうな生地をこねて、まあるくりぬいて、揚げればドーナツのできあがり。次は、読書する本を選びに屋根裏部屋へ。選んだ本の表紙を見ようとすると、大量の蛾が！暗い屋根裏部屋は、よく見ると虫やネズミがいっぱい！！2人は本を取る為に一度戻って、作戦を考えます…。

親子のような、友達のような不思議な関係のバムとケロ。雨の日も2人らしく過ごす姿がほほえましい一冊です。あったかい気持ちになる色合いに、細部まで遊び心がある描き込み。つばめ組ではゴザの上に転がりながら、じっくりと読んでいる子もいました。帰りの会に読んだ際は、バムの背丈よりも盛られたドーナツに釘付けの様子でした。

〈つばめ組 H先生〉

くものすおやぶんとりものちよう

〈作〉秋山あゆ子 〈出版社〉福音館書店

「12月の劇に向けてみんなのお気に入りの絵本が知りたいな」と声をかけてふじ組の子どもたちを持ってきてもらった絵本の中にあつた一冊です。

虫の町のお菓子屋さんに届いた盗みの予告状。そのお菓子屋さんには、はるまつりのために用意したお菓子がたくさんあって、そのお菓子を盗まれたらお祭りができない！？そんな状況の中、蜘蛛の巣親分とびよんきちが、盗み人をつままえようと奮闘するお話です。

今ふじ組では、この絵本がブームになっていて、こおりおにをしているときも「ちっ、にげられたか」「次はあの人をつかまえよう！」「がってん しょうち」と言ったり、落ち葉を見つけては「かぜもねえのに やけにはっぱが ちるじゃねえか」と言ったりなど、口調がどどん蜘蛛の巣親分のようになっています。また、絵をよく見てみるとそれぞれの虫たちが細かく描かれていて、後ろにいる虫たちの表情や仕草を見ては会話を想像して楽しんでいます。虫たちが繰り広げる捕り物時代劇！リズムカルな文章も心地良い絵本です。

〈ふじ組 O先生〉



読み聞かせノートより



おふろおじゃまします

〈作・絵〉たしろちさと 〈出版社〉文溪堂



男の子とかばくんが色々な動物の家へ訪れお風呂に入ります。泥のお風呂やスライダープールのお風呂、岩風呂など場所も形も様々でお風呂のページが出てくる度に子ども達の表情もコロコロ変わり、とても可愛かったです！観劇会の「おふろだいすき」の素敵な思い出や記憶が残っていたようで、題名を言うだけで、「え、おふろだいすき？」と楽しみにしてくれている様子がほほえましかったです。

〈ひよこ組 Oさん〉

ぬまのぬしからのてがみ

〈紙芝居〉

〈脚本〉望月新三郎 〈絵〉田代三善 〈出版社〉童心社



もも組の劇で「ぬまのぬし」が出てくるお話をすると聞いたので、違う「ぬまのぬし」が出てくる紙芝居を読んでみました。もも組のお友達から、「『やまなしもぎ』のぬまのぬしはすぐに食べてしまうけれど、このぬまのぬしは何でも出てくる「こづち」か、水のたねとなる」とっくり”を選びせて、若者にチャンスを与えたね！という感想がありました。よく理解しているなあと思いました。

〈もも組 Yさん〉

※紙面で紹介している絵本の表紙画像の掲載には、出版社の許諾をいただいております。



風が冷たくなり、外へ出るのが億劫になる季節になりましたが、みほのっちは寒さを感じさせないほど元気に外で遊んでいますね。秋まつりでは古絵本回収にご協力を頂きありがとうございました。好みの絵本に出会えたでしょうか？喜んで頂けたら幸いです。私はふれぬんを通して、親子で絵本を見る時間は、たくさん笑顔も見れて本当に貴重ななあと感じました。

12/27(水)9:00~12:00に絵本の部屋開放日があります。ぜひ足を運んでみてください。来年も子どもたちの笑顔と元気な声がたくさんあふれますように…。

〈もも組 S〉